

活力ある健康長寿社会をめざす  
東海地域5大学+1研究所合同  
最先端医療福祉・生活支援テクノロジー

# 成果発表会

Joint Seminar on Advanced Medical Welfare & Life Support Technologies in Tokai Area  
～ 人間共生ロボテックス、情報工学、医療画像、バイオメカニクス、機能計測、生活機能QOL技術 ～

東海地域の大学および研究所が集結し合同で研究成果を発表します。活動紹介とポスターによる発表ですので、詳しく技術内容を聞くことができます。また、韓国における最先端医療技術開発動向について韓国全北大学のJong Kwan Park教授、およびHak-Yong Kim教授より講演して頂きます。

日時：2011年9月28日(水) 12:00～17:30

場所：大府市役所地下多目的ホール  
(愛知県大府市中央町五丁目70番地)

参加費：無 料

事前登録(裏面参照)をお願いしますが、当日参加可、200名収容

## プログラム：

12:00 開場

12:00～12:50 成果発表ポスターの閲覧

12:50～13:00 開催の挨拶

13:00～14:30 招聘講演

「韓国における最先端医療技術開発」

1) 医用機器開発を支援する国立臨床試験センター(MDCTC\*)の活動  
全北大学病院・MDCTCセンター長 Jong Kwan Park 教授  
\*Medical Device Clinical Trial Center

2) 研究成果の製品化を推進するヘルスケアセンターの活動  
全北大学 Center for Healthcare Technology Development  
センター長 Hak-Yong Kim 教授

14:35～16:05 各研究機関の「最先端医療福祉・生活支援テクノロジー」紹介

16:10～17:30 成果発表

ポスターツアー、およびフリーディスカッション  
(各ポスター毎にプレゼンテーションを行います)

17:30 閉会

国立大学法人  
豊橋技術科学大学  
人間・ロボット共生リサーチセンター

独立行政法人 国立長寿医療研究センター  
長寿医療工学研究部

名古屋大学  
機械理工学専攻バイオメカニクス研究グループ

国立大学法人  
名古屋工業大学  
ライフ・イノベーションのための介護・リハビリ・生活支援技術の研究開発プロジェクト

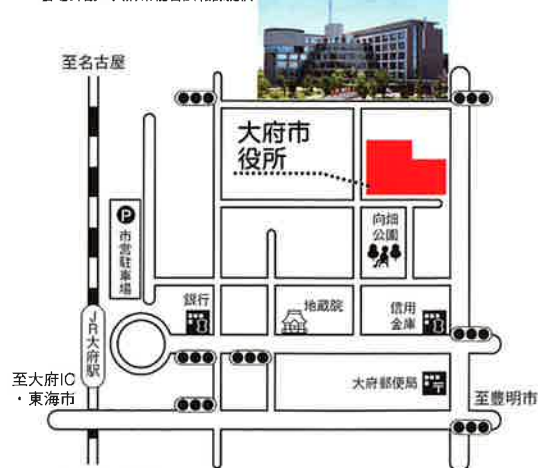
国立大学法人  
三重大学  
人間共生ロボテックス・メカトロニクスリサーチセンター

国立大学法人  
岐阜大学  
人間医工学研究開発センター

招聘参加

韓国国立・全北大学校(全州市)  
Center for Healthcare Technology  
Development + 大学病院 MDCTC

会場外観：大府市秘書広報課提供



至豊橋・浜松

アクセス：JR大府駅より徒歩10分  
(JR名古屋駅から大府駅まで新快速で約13分)

主催：東海地域5大学/1研究所合同成果発表実行委員会  
愛知県大府市

後援：中部経済産業局、愛知県、岐阜県、(財)岐阜県研究開発財団  
岐阜大学産官学融合本部、(株)豊橋キャンパスイノベーション

申込など連絡先：大府市役所商工労政課  
(愛知県大府市中央町五丁目70番地)

TEL：0562-45-6227 FAX：0562-47-9996

mail：shoko@city.obu.lg.jp

## ■参加機関紹介

|  |  |
|--|--|
| <p>国立大学法人<br/><b>豊橋技術科学大学</b><br/>人間・ロボット共生リサーチセンター</p>  | <p>共生型ロボット開発のためのロボットユニバーシティ事業として、産学官との連携により以下の課題について戦略的に研究を推進しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代人間共生型トータル介護・福祉ロボットのシステムおよびステーション開発</li> <li>・ユニバーシティ全体を利用し、ロボットと人、空間、環境の最適共生関係を追求</li> <li>・知的ロボットを実用化させる利用化技術、活用化技術の発展を推進</li> </ul> |
| <p>独立行政法人<br/><b>国立長寿医療研究センター</b><br/>長寿医療工学研究部</p>  | <p>長寿医療に関する診断機器や生活支援機器を開発しています。また、認知症の総合的早期診断・解析法の開発、組織保存法の新展開、褥創の機序と予防・治療法、在宅・遠隔医療の工学的支援、医療機器の安全性と危機管理体制の構築などの課題にも取り組んでいます。</p>   |
| <p>国立大学法人<b>名古屋大学</b><br/>機械理工学専攻バイオメカニクス研究グループ</p>  | <p>①生体組織の力学特性の解明とそのモデル化等に取り組む基礎バイオメカニクス、②整形外科臨床問題のシミュレーション等に取り組む整形外科バイオメカニクス、③交通事故時の傷害防止のための衝突安全技術の研究開発等に取り組むインパクトバイオメカニクスの3分野のテーマを取り扱っています。</p>   |
| <p>国立大学法人<b>名古屋工業大学</b><br/>ライフ・イノベーションのための介護・リハビリ・生活支援技術の研究開発プロジェクト</p>   | <p>反復負荷抵抗訓練支援ロボット/リハビリ支援システム、ヒトとの親和性の高い歩行支援機と爪に注目した指先触覚感度可変器具、聴覚神経機構をデジタルロジックとして実現したサウンド・ウォッチャー(音の見張り番)、音声・脳血流解析を用いた認知症の早期スクリーニング、体を動かすことなしにコントロールできる脳波インタフェースなど、『運動-脳科学-感覚』の枠組みから特徴的な研究開発を推進しています。</p>  |
| <p>国立大学法人<b>三重大学</b><br/>人間共生ロボティクス・メカトロニクスリサーチセンター</p>  | <p>アクチュエータ、エネルギー源(電池等)、機構、知能、ヒューマンインターフェース、制御、センサ等、人間支援ロボット・メカトロニクスシステムに必要な要素技術を高度化し、実用に耐えるロボット、メカトロニクス機器を開発することを目的としています。</p>   |
| <p>国立大学法人<b>岐阜大学</b><br/>人間医工学研究開発センター</p>   | <p>活力ある健康長寿社会を推進する支援技術の開発を目指し、三部門体制(イメージ&amp;機能解析部門、五感コミュニケーション部門、人間支援ロボティクス部門)による医工専門集団として活動し、健康長寿に必要な早期診断、先端医療・福祉までトータルな次世代技術開発を行なっています。</p>   |
| <p><b>韓国・国立全北大学校</b><br/>・Medical Device Clinical Trial Center<br/>・Center for Healthcare Technology Development</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学病院内に設置された医用機器開発を支援する国立臨床試験センター(韓国国内36センターの一つ)で、30数名の専門スタッフで短期集中的に行っている(2009年設置)。</li> <li>・全羅北道にあるWoosuk University, Wonkwang Universityと3大学連携型プロジェクトセンターとして研究教育を行い、運動機能支援型機器、健康食品など多くの開発製品を有している。</li> </ul>  |

## 参加申込書

次のいずれかの方法により、2011年9月21日(水)までにお申し込みください。

- (1)参加申込書に必要事項を記入し、郵便又はファクシミリで申込先に送付
- (2)必要事項を記載した電子メールを申込先に送信

|                              |     |
|------------------------------|-----|
| <p>企業・団体名<br/>(個人の場合は不要)</p> |     |
| <p>連絡先(電話番号)</p>             | — — |
| <p>氏名</p>                    | 氏名  |
|                              |     |
|                              |     |

※この申込書は、当日の参加者数を把握するものです。他に利用するものではありません、ご協力をお願いします。

**【問合せ・申込先】 大府市役所商工労政課**  
**愛知県大府市中央町五丁目70番地(〒474-8701)**  
**TEL:0562-45-6227, FAX:0562-47-9996 mail: shoko@city.obu.lg.jp**